

HONNE DAN TATEMAE HUBUNGAN ANTARPERSONAL DI LINGKUNGAN KERJA HOTEL MONTEREY OKINAWA

Bayu Adhitama

43131520200017

STBA JIA

2024

ABSTRAK

Honne dan *tatemaie* merupakan konsep penting dalam budaya Jepang yang menggambarkan perbedaan antara perasaan atau pendapat pribadi yang sebenarnya dan perilaku atau ucapan yang ditampilkan kepada orang lain. Tujuan dari penelitian ini adalah untuk mendeksripsikan bentuk dan fungsi *honne-tatemaie* terhadap rekan kerja dan bawahan terhadap atasan di dalam lingkungan kerja Hotel Monterey Okinawa. dalam lingkungan kerja Hotel Monterey Okinawa berdasarkan teori Sugimoto. Penelitian ini menggunakan metode penelitian kualitatif dengan pengambilan data menggunakan metode observasi dan wawancara tidak terstruktur. Terdapat 10 data observasi dan 6 pertanyaan yang diwawancarai kepada 3 informan, kemudian peneliti menemukan 13 data bentuk dan fungsi *honne-tatemaie* dari hasil wawancara tidak terstruktur. Hasil menunjukkan ekspresi *tatemaie* dominan muncul untuk menjaga keharmonisan dan adanya pengecualian fungsi *honne* yang hanya terjadi pada *nomikai*. Dilihat siapa yang mengajak individu tersebut untuk pergi minum, jika bukan teman dekat ekspresi *honne* menunjukkan penolakan dengan mengatakan “tidak” dan mengatakan “iya” jika diajak oleh teman akrab.

Kata kunci: Honne, Tatemaie, Hubungan Interpersonal, Masyarakat Jepang

モントレ沖繩の職場で個人間の関係の本音と建前

バユ・アディタマ

43131520200017

STBA JIA

2023

要旨

本音と建前とは、日本文化における重要な概念である。本音と建前は、本当の個人的な感情や意見と、他人に見せる行動や言動の違いを表す日本文化の重要な概念である。本音と建前 本研究の目的はホテルモントレの職場環境における、同僚に対する本音建前と上司に対する部下建前の形態と機能について述べる。ホテルモントレ沖繩の職場環境における上司に対する部下、ホテルモントレ沖繩の職場環境における上司に対する部下。杉本理論に基づくホテルモントレ沖繩の職場環境。本研究は質的研究法を用いている。質的研究法観察および非構造化面接を用いた。10個のデータ観察データ10件、インフォーマント3名へのインタビューデータ6件である。非構造化インタビューの結果から、本音建前の形態と機能に関する13のデータを見出した。非構造化インタビュー その結果、建前は調和を保つ表現が支配的であり、例外もあることがわかった。その結果、建前は調和を保つために使われ、本音は例外的にノミカイでのみ使われることがわかった。のみである。誰が飲みを誘うかを見ると親しい友人でない場合、ホンネ表現は「ノー」という拒否を示す。親しい友人から誘われた場合は「ノー」、親しい友人から誘われた場合は「イエス」と言う。親しい友人に誘われた。

キーワード：本音, 建前, 個人間の関係, 日本社会

概要

第一章

はじめに

A. 背景

日本人は、相手の感情を害することを恐れて、自分を直接表現することを好まない。そのため、他人とうまくやっていくために、自分の発言に注意を払い、建前を使うことが多い。タテマエは、相手の気持ちを理解し、自分の気持ちを伝えるために使われる。しかし、そのようなことをするためには、そのような人は、そのような人でなければならない、また、そのような人は、そのような人でなければならない、そのような人は、そのような人でなければならない、そのような人は、そのような人でなければならない、そのような人は、そのような人でなければならない。Davies and Ikeno, (2002, 115) によれば、多くの人々にとって、自分の言葉と意図は必ずしも一致しない。日本ではこのような状況において、見かけの言葉を「建前」と呼び、本音を「本音」と呼ぶ。

B. 問題定式化

背景によると、問題は：

1. ホテルモントレ沖縄の職場で本音と建前の形はどんな形であるか？
2. ホテルモントレ沖縄の職場で本音と建前の利用はどんな利用であるか？

第二章

理論的基礎

A. 日本社会の性格

1. 尊敬
2. 忠義
3. 勇気
4. 正直
5. 自制
6. 責任

B. 日本人の職場

日本の労働環境は、中程度の権力距離、高い集団主義、強い男性性、高い不確実性回避、長期志向の影響を受けている。日本の従業員は組織のヒエラルキーを尊重し、トップダウンで意思決定が行われ、あまり異議を唱えることはない。彼らはチーム文化の中で働く傾向があり、会社への忠誠心を重んじる。達成感、競争心、勤勉さが高く評価され、仕事に対する要求も高く、時には「過労」などの健康問題につながることもある。不確実性回避志向が強く、厳格な規則や手続きを重視し、リスクを減らすために長期的な計画を立てる。長期志向は、将来への焦点、忍耐、犠牲、社員教育への長期的投資によって示される。ホフステッドの理論によれば、集団の調和、尊敬される上下関係、評価される業績、リスク回避傾向、長期志向が日本の職場環境を形成する主な要因である。

C. 本音と建前の概念

Sugimoto (2010) 本音と建前は、日本文化において極めて重要な概念である。本音は自分の本心を表すもので、社会の調和を保つために隠されることが多い。一方、「建前」とは、「和」を保つために社会の期待に従って示す態度のことである。本音は「裏」にあり、自分らしくいられる安心できる場所であるのに対し、「建前」は社会的な要求に合わせるために「表」にある。本音は家族や親しい友人など、内面的な環境で表現されることが多く、建前は職場など公的な場所で表現される傾向がある。本音と建前を表現することは、日常生活において良好な社会関係を維持し、衝突を避けるのに役立つ。また、「外」よりも「内」を優先する日本社会における「和」と「親しみ」の重要性を反映している。

第三章

研究方法

A. 研究方法

定性的研究とはデータの内容は数値的データじゃなくて、画像やテキストの質的データに基づいて行われる。データを集めてから、分析して、他人が分かりやすくするように写されて、この研究は本音と建前のイメージを説明してあげる Sugiyono (2020, 7)。

B. 研究手順

この研究手順は、問題設定の質問に答えるために使用される段階である。準備段階、実施段階、完了段階からなる。

C. データ収集

不定形面談とは研究者がデータ収集のために体系的な完全成り立つですが、面談示達を使用しなくて自由面談ある。

D. データ分析技法

研究者は、Sugiyono (2013:244) データ分析とは、インタビュー、フィールドノート、文書などから得られたデータを、カテゴリーに整理し、記述し、分析し、まとめ、何が重要で何を研究するかを選択し、自他ともに理解しやすいように結論を出すことによって、体系的に検索し、まとめるプロセスであると説明。

第四章

データ分析

A. データ分析

データ 1

1. 本音と建前の形

本音は嘘のない本音の表現。建前は嘘ではなく、イメージの表現。

2. 本音と建前の利用

ホンネは真実を表現する機能であり、タテマエは悪い環境を作らないための手段である。

データ 2

1. 本音と建前の形

建前は「ラブ&ピース」、本音は「自己主張」のようなものだ。

2. 本音と建前の利用

建前は争いを避けるためのもの。

一方、「本音」は本音を反映した自己宣言であり、親しい友人に対してのみ使われる。

データ 3

1. 本音と建前の形

建前は仕事に慣れること。本音は他人を気にしない。

2. 本音と建前の利用

この文脈での「建前」は、調和がとれた効果的な職場環境を作るのに役立つ。本音は誠実さを表す。

データ 4

1. 本音と建前の形

現在、「建前」は地域社会で使われる言葉であり、「本音」は親しい友人に対する表現である。

2. 本音と建前の利用

社会で礼儀を示し、和を保ち、争いを避けるのが建前の役目である。社会になじんでくれば、徐々に本音が出てくる。

データ 5

1. 本音と建前の形

建前はイメージのために嘘を使う。一方、本音はすでに親しまれている場合に使われる。

2. 本音と建前の利用

建前は仕事をしやすくするためのものであり、本音はより正直なコミュニケーションを可能にし、同僚やチーム間の信頼関係を築くためのものである。

データ 6

1. 本音と建前の形

建前はいいイメージだ。

2. 本音と建前の利用

前向きで礼儀正しいイメージを示すこと。他者に対して友好的で思いやりのある行動を示し、否定的に受け取られるような感情や意見の表明を避ける。

データ 7

1. 本音と建前の形

本音は初対面に対して使わない。

2. 本音と建前の利用

建前は礼儀正しさを示し、心地よい話を生み出す。

データ 8

1. 本音と建前の形

建前はゲスト、同僚、上司に対して使う。

2. 本音と建前の利用

建前は良いサービスを提供し、会社に良い印象を与えるために機能している。

データ 9

1. 本音と建前の形

仕事上の関係では、両方は建前を使う。

2. 本音と建前の利用

建前は、調和、礼儀正しさ、プロフェッショナルなイメージを保つために使われる。

データ 10

1. 本音と建前の形

建前は「イエスマン」が口癖で、目上の人に「ノー」は口が裂けても言えない。一方、本音は困った表情を見せる。

2. 本音と建前の利用

建前は目上の人に対する服従と尊敬を表すもので、良好な人間関係を維持し、仕事を安定させるために重要だと考えられている。一方、本音は真の自己表現を示す。

データ 11

1. 本音と建前の形

初めて建前で指名会に参加し、その後、頻繁に指名会に参加し、同僚や上司と親しくなると、本音表現が出てくる。

2. 本音と建前の利用

飲み会の「建前」は、目上の人に対する礼儀を保つために使われるもので、すでに目上の人と親しい間柄であれば、本音の表現が出てくる可能性が高い。

データ 12

1. 本音と建前の形

飲み会の場合、初めてでも本音が使われる。

2. 本音と建前の利用

本音は、飲み会を快適にするための機能である。

データ 13

1. 本音と建前の形

最初に指名会に招かれたときは「建前」を使う。指名会の途中では本音を使うこともある。

2. 本音と建前の利用

ここでの建前とは、職場の人間関係を維持することである。

第五章

結論と提案

A. 結論

モントレ沖縄ホテルの職場環境におけるホンネとタテマエの対人関係の形態と機能について、インフォーマントによる分析結果をもとに考察した。人々の生活において、「本音」は親しい友人に対して嘘偽りのない自己宣言をすることであり、「建前」は調和的な環境を作り、争いを避けるために、世間に対して示すイメージ表現である。

仕事においては、会社に好印象を与え、来客をもてなし、最高のサービスを提供し、同僚や上司に愛想を振りまくことが「建前」であり、上司の命令に腹を立てることが「本音」である。日本人は通常、仕事を終えた後、他の同僚と親睦を深めるために「飲み会」を開くが、「飲み会」に初対面の人がいた場合、和を保ち、同僚や上司に礼儀を示すために「タテマエ」の表現がよく出てくる。一方、「本音」は、すでに顔なじみの同僚と話すときに出てくる。

ただし、この「本音」には例外がある。誰から飲みに誘われたかを見ると、親しい友人でない場合、ホンネ表現は断りを表し、誘われた場合は「ノー」と言い、親しい友人から誘われた場合は「イエス」と言う。

B. 提案

この「本音・建前」の形式と機能に関する研究を踏まえ、研究者は今後、日本人が「本音・建前」の概念をどのように日本社会に適用しているかを比較することを提案する。また、日本人の従業員が日本企業でどのように「本音・建前」を使っているのか。本音・建前が職場環境における人間関係、意思決定、協力にどのような影響を与えるかを評価する。